



一般社団法人ブラックキャップス



# Yuma Takeshita

竹下雄真

株式会社ポジティブCEO / デポルターレクラブ代表

株式会社デポルターレ・テクノロジーズCEO

慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員

北海道大学東京オフィスアドバイザー

文教大学湘南総合研究所準研究員





Deportare  
Club

**存在するなら進化しろ**

# デポルターレクラブとは

## CONTENTS



Personal Training



Studio Program



Body Care



Online Training

## TRAINERS



2010



Establishment of Deportare Club

2011



Opening of the NishiAzabu gym

2012



Expansion and relocation of the gym and the beginning of consulting services

2014



Deportare Yoga begins

2018



Form an alliance with SQOL KANAZAWA

2019



Opening of the ASICS SPORTS COMPLEX TOKYO BAY

2020



Establishment of Deportare Technologies

2021



Establishment of Chigasaki Black Caps



# 茅ヶ崎ブラックキャップス 3大会出場「イロハ」学んだ

ポニーリーグチーム紹介

創部1年目の茅ヶ崎ブラックキャップスは、今季関東地区1年生大会、全日本選手権ブロンコ大会、関東地区秋季大会の3大会に出場した。阪口泰佑総監督(27)は「選手も指導者もスタッフも全員がポニー1年目。他チームと交流することで、あいさつの仕方や、練習中、練習前後の行動など野球人としてのイロハを学べました」と話す。

3年間ケガしない体作りを1年目の目標に置いており、冬のトレーニングでさらに選手たちは体作りに励む。主将で三塁手の西村絆が大きな声でチームを引っ張る。投手陣では右の竹下雄義、小野間悠斗、左の芦澤我空が3本柱。打線では俊足の1番打者・芦澤がチャンスを作り、長打力のある久原隼太郎、亀山隆史、岸璃玖人らがかえす役割を担う。

総合型地域スポーツクラブを目指す

30 阪口泰佑総監督

番	氏名	所属中野
1	竹下雄義	須賀賀一
2	小野間悠斗	須賀賀一
3	西村絆	須賀賀一
4	深井陸	須賀賀一
5	加藤健太郎	須賀賀一
6	久原隼太郎	須賀賀一
7	亀山隆史	須賀賀一
8	芦澤我空	須賀賀一
9	岸璃玖人	須賀賀一
10	今西高樹	須賀賀一
11	高橋虎	須賀賀一
12	岡崎瑠生	須賀賀一
13	正路	須賀賀一
14	正路	須賀賀一

茅ヶ崎ブラックキャップスのメンバー

2021 マスターズ甲子園東京大会 トーナメント

Beyond magazine menu

# The Bad News Bears of REIWA era

@CHIGASAKI

share: f t

一回の裏  
おとなたちの物語

Beyond magazine menu

# The Bad News Bears of REIWA era

@CHIGASAKI

一回の表  
子どもたちの物語

## 茅ヶ崎ブラックキャップス 新たな部活動の在り方探る

### 経産省の実証事業に認定

茅ヶ崎を中心活動とし、中学まで野球チーム「茅ヶ崎ブラックキャップス」は、経産省の「未来の教室」実証事業に認定された。茅ヶ崎市は、この認定を受け、市内の中学校で実証事業を実施する。茅ヶ崎ブラックキャップスは、この認定を受け、市内の中学校で実証事業を実施する。茅ヶ崎ブラックキャップスは、この認定を受け、市内の中学校で実証事業を実施する。

学校教員の一環として、様々な課題と向き合い、新たな部活動の在り方を探る。茅ヶ崎ブラックキャップスは、この認定を受け、市内の中学校で実証事業を実施する。

茅ヶ崎ブラックキャップスのメンバー

多様な選択肢  
大切なのは  
部活動の在り方

12

Twitter Facebook Messenger

Full-Count

### デポルターレクラブ代表・竹下雄真さんが地元・茅ヶ崎で奮起

# 課題と改善・解決策

## 課題

### ①少子化に伴う部員数の減少

クラブチーム選手が学校部活大会出場権がない。茅ヶ崎市・寒川町の中学部活動野球としての登録は、2重登録は原則不可。硬式野球チーム所属の生徒が部活動野球に出場し、大会を勝ち進んだ経緯が原因。

### ②専門性の高い指導者の不足

学校部活動は生徒のみの活動になっている。  
指導したい教員・辞退したい教員の契約形態や要件定義、規程が不明瞭

### ③部活動の枠に捉われない新たなスポーツライフの創出

行政・学校・民間の業務スピードの進め方の差。  
「行政」=業務多忙で、強制力でない限り、業務が後手になっている。地方行政長、議員等の積極的な働きかけ、  
もしくは国の大きな指針がないと、動きが鈍くなる。  
「学校」=担当教員、管理部門の管轄・責任範囲、権限がないと進み辛い。

## 改善・解決策

- ・大会出場規定の改定
- ・責任所在の明確化
- ・選手（生徒）の学校・クラブチームの情報の共有プラットフォームの構築

- ・部活指導協力者の募集
- ・責任所在の明確化
- ・選手/保護者が考える「専門性の高い指導者」の定義化

- ・地域の担い手との連携
- ・具体的な業務施策を協議/実施する体制構築
- ・新規競技/文化の検討会の実施
- ・具体的なイベントの実施  
例：定期的なSprint 教室の開催  
- スポーツの基本となる「走る教室」をブラックキャップスで実験中

我々が最終的に目指す姿

# Wellness Hub 構想

茅ヶ崎市 × 文教大学 × ブラックキャップス

地域住民



子ども

幼い頃から健康に向けた習慣化を身につける。能力向上

学室や部活がわりの利用も。将来的には、野球だけでなく、さまざまなスポーツへ発展させる



大人

健康維持やスポーツ・文化活動参加

子どもがスポーツ中にはカフェ利用など



高齢者

健康寿命を伸ばす結果的に、医療費削減へ

運動



練習場/体育館



栄養

運動で終わらない

風呂/サウナ



スパ



学生

学生がB-CAPSの栄養管理

塾

学習

子どもの塾、習い事、HCC

未病センター

未病



学生がHCCライセンスを取得

未病センターで働く

オンラインスタジオ



本部



健康のスペシャリスト育成



スポーツクラブ外への発信



子どもを含めた老若男女、地域のすべての人の心身の健康や、基礎体力（病気に負けない力）、その他能力の底上げを目指す

結果として、地域コミュニティ強化、新事業創出や地域ブランド向上に。